

令和元年8月三木市教育委員会（定例会）会議録

1 開催日程

- (1) 開 会 令和元年8月22日（木）午後3時00分
- (2) 閉 会 令和元年8月22日（木）午後5時40分

2 場 所 三木市役所 5階 大会議室

3 議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名について
- 第 2 会議録の承認について
- 第 3 会議の非公開の決定について
- 第 4 協議事項3 平成30年度の三木市教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書(案)について
- 第 5 協議事項4 平成30年度における認定こども園及び保育所並びに放課後児童健全育成（アフタースクール）事業に係る教育委員会事務局職員による補助執行の市長への報告について
- 第 6 協議事項5 三木市立幼稚園の廃園に伴う園区の変更について
- 第 7 協議事項6 幼保一体化計画の見直しについて
- 第 8 報告事項 各課の所管事項について
- 第 9 その他
- 第 10 次回定例会の開催日程について

4 出席者

教 育 長	西 本 則 彦
委 員	石 井 ひろ美
委 員	浦 崎 秀 一
委 員	大 北 由 美
委 員	實 井 政 治

5 欠席者 なし

6 事務局出席者

教育総務部長	石田	英之
教育振興部長	奥村	浩哉
教育振興部次長	岩崎	恵
教育総務課長	五百蔵	一也
教育施設課長	長池	陽作
文化・スポーツ課長	金井	善純
学校教育課長	坂田	直裕
教育センター主査	牛尾	淳子
教育・保育課長	正心	均
生涯学習課長	近藤	豊
図書館長	伊藤	真紀
企画政策課長	降松	俊基
人権推進課長	辻田	政顕
教育総務課主事	藤原	亮太
教育総務課	澤田	静香

7 傍聴者 なし

開 会

教育長が、令和元年8月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長が、三木市教育委員会会議規則第28条の規定により、本日の会議の会議録署名委員に、石井委員と浦崎委員を指名した。

日程第2 会議録の承認について

教育長が、令和元年7月定例会（17日開催）の会議録について委員に諮ったところ、大北委員から一部内容について修正を求める発言があったため、一部修正の上、教育長が委員に諮り、全員一致で承認された。

日程第3 会議の非公開の決定について

教育長が、議事の進行について委員に諮り、協議事項5の三木市立幼稚園の廃園に伴う園区の変更について及び協議事項6の幼保一体化計画の見直しについては、意思形成過程の段階であることから、三木市教育員会会議規則第5条第1項ただし書の規定により、非公開で審議することについて委員に諮り同意された。

日程第4 協議事項3 平成30年度の三木市教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書(案)について

○五百蔵教育総務課長が次のように報告した。

前回7月定例会で協議いただき、その際のご指摘を基に修正した。また、点検・評価報告書を基に概要版を作成した。

「平成30年度点検・評価報告書修正箇所一覧（令和元年7月17日定例会指摘分）」は、前回の定例会で委員からご指摘を受け、今回修正を加えた一覧である。

点検・評価報告書の「はじめに」の最後から2番目の段落で、「整理するとともに」という表現を「整理することにより」に改めた。

その次の段落で、今回の評価から2名の評価者のうちの1名を、新たな学識者として選任し、学力向上や学校再編などの分野においてご指導を賜っている神戸大学の山下晃一准教授に評価をお願いすることとした。

11ページは、教育関係費に係る決算数値の年度間比較について、平成30年度の決算見込を反映した。前年度から増減がある箇所については注釈を加えている。

12ページは、市全体の歳出に占める教育関係費の経年比較を掲載した。

13ページの、取組の項目の一覧に、(4)(5)の中の項目を追加した。いずれも本文の項目追加によるものである。

14ページは、「本文の語句の定義を明確化するとともに、正式名称で表記すべきではないか。」また、「研修成果をどのように現場に反映させるのかを記述する必要がある。」とのご指摘をいただいたため、ページの全文改正をした。

20ページの「数値目標における成果と課題」について、「学校の授業時間以外の勉強時間が増えていること」と「みきっ子家庭学習ガ

イド」との関連性について、より詳細な文章に改めた。

24ページの、「イ 生徒指導体制の確立」の中の問題行動の増加した理由として、「特定の児童が複数回繰り返した」ことが分かるよう表現を改めた。

28ページの、(5)「健やかな体」の育成に係る取組項目として、「教育課程外の部活動が最初に来ているのは違和感がある。教育課程である『体育』に関することをまず、記載すべきではないか。」というご指摘をいただき、冒頭に「ア 各学校園での体力向上に向けた取組の推進」として新たに項目を追加した。

事務局で修正させていただいた箇所として、39ページ冒頭の数値目標の指標について、記載を改めた。平成29年度の点検・評価では、指標の区分として、「人権教育」及び「特別支援教育」の2項目について達成状況を掲載したが、当該項目が「開かれた学校園づくりの推進」の成果を図る取組方法としては適切でないとの指摘があり、平成30年度は評価項目としては掲載しないこととした。

42ページの、(5) 学校の教育環境の充実と検討の中で、「多様な意見を出し合い議論する授業」を「多様な考えのもとでしか活性化しない授業」に、「指導のノウハウ」を「指導法」に、「学校規模が大きくなった際にも、小集団学習などの場面でも活かせるように」を「学校規模が変わった際にも、学習指導、生徒指導などあらゆる場面で活かせるように」と文章表現を改めた。

46ページ一番下の、数値目標における成果と課題の中に、若い世代の住民学習への参加率アップに向けた改善策を、より詳細に記載した。

47ページの、「人の目の垣根隊」について、「一人当たりの園児・児童数の記載があったが、実働人数が少ないため、実際にはもっと多くの子ども達を見ているのではないか。」とのご指摘があり、当該人数を削除した表現に改めた。

48ページ一番下の、「(3) 学びたいときに学べる環境の整備」の高齢者大学に関して、「高齢者の人生」を「高齢者の生活」に改めた。

概要版の内容は本編の主な項目の抜粋で、各事業の実績を簡潔に記載している。また、第2期三木市教育振興基本計画の特徴である各施策の数値目標とそれに対する実績を抜粋し、ページの最後に資料として添付している。

今後の予定として、今回協議いただいた内容に加筆・修正等した後、

外部評価者の評価を加え、9月の定例会で議案として提出する予定である。

(大北委員) 14ページであるが、キーワードの「三木市就学前教育・保育共通カリキュラム」の語句が消えてしまっている。「三木市幼保連携型認定こども園教育・保育共通カリキュラム」を、国の要領に合わせて「三木市就学前教育・保育共通カリキュラム」に改訂したことが分かる文章にする必要がある。また、略語の「三木市共通カリキュラム」は「三木市就学前教育・保育共通カリキュラム」の後に入れる方がよい。

(五百蔵委員) ご指摘のとおり修正する。

(石井委員) 18ページの「入所児童数」の表は、市内に住所を有する人で保育を必要とし、入所ができていない乳幼児数であることが分かるよう、説明を入れていただきたい。

(大北委員) 他市の乳幼児は受け入れているのに、三木市在住の乳幼児が入れないと誤解されるおそれのない表記にしてもらいたい。

(西本教育長) 市内の施設が受け入れている人数ではなく、市内に住所を有する乳幼児が、市内又は市外の施設に入所している数字を表しているものであるため、それを分かりやすく記載願う。

(大北委員) 23ページの(4)「豊かな心」の育成の中の「ふるさと教育」は、第2期教育振興基本計画の中では「グローバル人材を育成する教育の推進」の中に記載されているが、どちらに記載することが適切であるか整理が必要であると考えている。

(坂田学校教育課長) 「グローバル人材を育成する教育の推進」の中の他の文面との整合性も考え、三木市が目指しているものとして、どちらで記載する方が良いのかを検討する。

(浦崎委員) 23ページの数値目標における成果と課題で、英検を受験する生徒の割合が「平成29年度と比較して、1.3%増加しまし

た。」とあるが、1.3%の増加が評価に値するものなのか、見解を聞きたい。

(坂田学校教育課長) 各学校で英語検定の日程等を認知させたり、受験対策の教材をサポートしたりと、受験者が増えるよう啓発を行っている中で、少しずつではあるが、自ら興味を持ち受験する子どもたちが増えているという点では評価に値すると考える。今後も、もっと早い段階から受験する子どもたちが増えるよう啓発を行っていきたい。

(西本教育長) 点検・評価報告書については、内容を整理したものに外部評価者の評価を加え、議案として9月の定例会に上程する。

日程第5 協議事項4 平成30年度における認定こども園及び保育所並びに放課後児童健全育成(アフタースクール)事業に係る教育委員会事務局職員による補助執行の市長への報告について

○五百蔵教育総務課長が次のように報告した。

報告の内容は、市長の権限に属する事務の補助執行に関する規則に定める事務で、「Ⅰ認定こども園及び保育所に関すること。」「Ⅱ放課後児童健全育成(アフタースクール)事業に関すること。」である。この報告は、市長の権限に属する事務の補助執行に係る教育委員会会議での取扱基準第4条において、市長に報告することを規定しており、このたび平成30年度の事業実績を報告するものである。

「教育委員会事務局の職員数」と「教育委員会所管業務の歳出決算見込額」を4ページに記載している。平成30年度から、子育て支援課が補助執行していた業務が市長部局へ戻り、児童手当や児童扶養手当等の扶助費が減ったため、民生費の平成30年決算見込額も大幅に減っている。報告内容については、担当課から説明する。

(長池教育施設課長) まず、1点目に「上の丸保育所耐震補強工事」を実施し、建物の耐震性を確保し、安全な保育環境の整備に努めた。

2点目に「別所認定こども園仮設園舎増築」を行い、園児受入れ枠の拡大を図るため、仮設園舎のリース契約、施設整備に係る工事や委託業務など環境整備を行った。3点目に「公立認定こども園及び

公立保育所の施設維持管理業務等」として、剪定業務、設備の保守点検や機械の整備委託などの環境整備を行った。4点目に「公立認定こども園及び公立保育所の給食業務」として、別所認定こども園の給食調理業務の委託化を進め、今年4月から調理業務を開始している。

(正心教育・保育課長) 大項目の「Ⅰ認定こども園及び保育所に関すること。」の三木市就学前教育・保育共通カリキュラムの策定について、国の「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の改訂内容との整合を図るよう「三木市幼保連携型認定こども園教育・保育共通カリキュラム」を改訂し、「三木市就学前教育・保育共通カリキュラム」を策定した。就学前教育・保育施設の第三者評価及び監査について、11施設において第三者評価を実施した。監査については、書面監査を21施設すべてで実施した。実地監査は、民間認定こども園6施設、公立認定こども園1施設、公立保育所1施設、公立幼稚園2施設で実施した。

また、保育者合同研修会等を、記載のとおり実施した。

市内就学前教育・保育施設の入所状況については、記載のとおりである。

大項目「Ⅱ放課後児童健全育成(アフタースクール)事業に関すること」については、直営事業所2施設、委託事業所11施設で受入を行った。ニーズに見合う受入れ体制に余裕がない施設があり、各小学校の余裕教室の使用の可否について調査し、空き教室が無い場合には、専用プレハブ棟の建設等の検討を行う。

(石井委員) ニーズに見合う受入れ体制に余裕がない施設があるのは、ハード面のほか、支援員の不足などによるものなのか。

(正心教育・保育課長) 支援員の確保も大きく関わっている。現在、子ども子育て支援事業計画策定に向けてのニーズ調査の取りまとめが終わり、今後アフタースクールの需要がどのようになるかを見据えた上での体制整備が必要である。

(西本教育長) 小学校の児童数は減少しているが、共働きなどによりアフタースクールの需要は高まっているため、空き教室や支援員の不

足が生じている。三木市は国の基準より手厚い体制で支援員を配置しているため、人材確保が難しいところがあり、更に人材確保のPRが必要であると考える。

(實井委員) 保育教諭の確保について、状況を伺いたい。

(正心教育・保育課長) 三木市においても、就業体験に対する補助や就学資金貸付の返還免除といった取組を行い、人材確保に努めているが、依然厳しい状況が続いている。

(西本教育長) 来年度以降の採用計画を立てて、今年も正規保育教諭の採用募集を行った。

日程第8 各課の所管事項について

(1) 教育施設課報告事項

○長池教育施設課長が次のように報告した。

学校施設整備工事等の進捗状況について報告する。市立小・中・特別支援学校25校の特殊建築物等定期点検業務委託と平田小学校給食調理場耐震診断業務委託は、引き続き作業を進めていく。夏季休業期間中に学校現場での調査が完了する予定である。

三木東中学校校舎及び屋内運動場屋根補修工事について、校舎、体育館等で雨漏りが数箇所発生しており、現在、屋根の補修工事を行っている。学校情報教育機器(リース)について、現在、各学校のパソコン教室にあるデスクトップ型パソコンをタブレットに入れ替える作業を行っている。市立学校園防犯カメラ及び録画装置等購入について、各学校に設定作業を進めている。職員室にモニターを設置し、常時カメラの画像を確認できる体制にしている。平田小学校エレベーター設置等工事について、工事業者が決定し、現在、工事の日程調整を行っている。

(石井委員) 防犯対策の対応について、防犯カメラがモニター付きで設置され、保護者から安堵の声や、保護者も「できる限りのことはしないとイケない。」という良い意見が聞かれた。

(2) 文化・スポーツ課報告事項

○金井文化・スポーツ課長が次のように報告した。

実施した事業として、堀光美術館の企画展で、上野 美紀乃さんの「絵付け陶芸展」を8月3日から18日まで開催し、来館者は437人であった。「東京パラリンピックネパールテコンドーチーム事前合宿」を8月5日から11日まで三木ホースランドパークのエオの森研修センター及び三木山総合公園総合体育館で行った。歓迎レセプションを8月6日に、交流イベントを8月10日に開催した。練習期間中の見学者は149人であった。「バレーボール選手強化練習会」を8月17日に開催し、参加者は145人であった。

今後の予定として、志染能楽仕舞こども教室発表会が8月25日に御坂神社で開催される。志染能楽仕舞子ども教室と加西市こども狂言塾が参加し、伝統芸能を通じた交流を図る。

(3) 学校教育課報告事項

○坂田学校教育課長が次のように報告した。

第5回定例校園長会を8月7日に開催した。就学援助事業の状況、生徒指導関係のまとめ、公立小・中学校特別支援学級学級編成等を主な内容として開催した。

学校主要行事等として、総合体育大会が、兵庫県中学校総合体育大会は東播地区で、近畿中学校総合大会は滋賀県で、それぞれ記載の日程で実施された。8月1日に教職員人権教育研修会を実施し、277人の教職員の参加があった。イングリッシュキャンプを低学年が7月29日から8月1日まで、高学年が8月19日から21日まで実施した。参加者は低学年が117人、高学年が59人であった。

今後の予定として、第6回定例校園長会を9月5日に開催する。英語暗唱大会を8月24日に開催する。運動会・体育大会は、全中学校と志染小学校が9月14日、口吉川、豊地、自由が丘東、平田を除く全小学校が9月21日に実施する。教育委員の皆様には、運動会・体育大会への参加をお願いする。

(浦崎委員) 英語暗唱大会とは、どのような大会か。

(坂田学校教育課長) 小学1年生から6年生の児童が、覚えてきた英語の物語の暗唱を披露する。これを機に、児童が英語に対する興味や関心を高めてほしいと考えている。

(4) 教育センター報告事項

○牛尾教育センター主査が次のように報告した。

実施した事業として、計9回の研修講座を記載の日程で実施した。

「ミドルリーダーが学校を変える」の研修講座については、記載の講師が体調不良のため、指導主事2人が対応し実施した。教育相談、青少年悩みの相談、不登校対策適応教室事業を記載のとおり実施した。

今後の予定として、研修講座10講座を、外部講師を招き記載の日程で開催する。タブレット研修については、2学期から本格的に活用を開始するタブレット端末の操作説明会を記載の日程で、全19回実施する。

青少年センターの実施した事業として、吉川町民ふれあい納涼大会が台風10号接近により中止となったため、特別補導は実施しなかった。今後の予定事業については、記載のとおりであるが、夏休みを終え、2学期に入ると子どもたちの生活のリズムが変化し、不登校傾向の児童生徒や非行行為が増える可能性もあるため、青少年補導委員や人の目の垣根隊と連携を図り、子どもたちを見守りたいと考えている。

(石井委員) 教師を対象とした研修講座の講師に関しても、様々な視点であらゆる大学から講師を招請することは可能か。

(牛尾教育センター主査) 毎年、講師について検討し、次年度の計画を立てるので可能である。

(大北委員) 外部講師を見つけるのは難しいが、教師のためになる講師を招請していただきたい。そのためには、講師を招請するための十分な予算確保に努めていただきたい。

(5) 教育・保育課報告事項

○正心教育・保育課長が次のように報告した。

実施した事業は、記載のとおりである。

今後の予定として、みきっ子未来応援協議会を8月27日に開催し、全体会として第2期子ども・子育て支援事業計画策定のニーズ調査の報告、幼保一体化計画の見直し等について協議、報告をする。特定教育・保育施設の監査に関する研修会を8月28日に開催する。みきっ

子未来応援協議会の就学前教育・保育部会を9月4日に開催する。内容については、全体会と同じである。キャリアアップ研修を9月14日に開催する。

(6) 生涯学習課報告事項

○近藤生涯学習課長が次のように報告した。

実施した事業として、公民館サマースクールとして、絵画教室やスポーツ教室、館外研修などを開催した。子ども会「ともだちキャンプ」を8月5日から7日にエオの森キャンプ場で開催した。参加者は39人であった。

今後の予定事業として、自由が丘学園、自由が丘の高齢者を対象とした教室を9月6日に開催する。第67回日本PTA全国研究大会兵庫大会が8月23日から24日まで開催される。北播磨地区の会場として、三木市文化会館で「人権教育」をテーマに開催される。

(7) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が次のように報告した。

三木飛行場展「県内の飛行場」を7月20日から8月18日まで中央図書館エントランスで実施した。7月20日と27日に展示・解説を行い、参加者は33人であった。資料の配布枚数は1,300枚で、新聞等にも取り上げられ、問い合わせも多く反響が大きかった。「かがく工作教室&おはなし会」を7月28日に吉川図書館で開催し、参加者は10人であった。「この本紹介します！おすすめブックカード」を7月30日から8月28日まで中央図書館で開催した。三樹小学校4年生が平和学習の中で心に残った平和に関する本をブックカードにして、本と一緒に展示をした。「リサイクル工作教室」を8月4日に中央図書館で開催した。参加者は37人であった。

今後の予定として、「一日図書館員」を8月19日に吉川図書館で、8月20日に青山図書館で、8月23日に中央図書館で開催する。「増田ふるさと公園からのメッセージ」を9月7日にバーチャル公園イベント、9月2日から14日まで増田ふるさと公園の春夏秋冬の展示を中央図書館で開催する。「製本・図書修理教室」を9月9日に「本の構造を知ろう」、9月23日に「無線綴じ本を直す」を中央図書館で開催する。

定例で実施する事業は、記載のとおりである。

日程第9 その他 なし

日程第10 次回定例会の開催日程について

教育長が、次回の教育委員会定例会の開催予定日程について諮り、令和元年9月19日午後3時から開催することを決定した。

閉 会

教育長が、令和元年8月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。